

New Spring Event 200人以上の親子が参加 春の新しい催しを開催

「春の川北子ども祭」を4月に開催
子どもを中心に地域交流の場へ



川西北コミュニティ連絡協議会 ことども部部长 糞谷勇也さん

新入生歓迎イベントを開催

「やったー！ペンゴー！」
春時雨の中、体育館に響くのは子どもたちの笑い声。

4月の日曜日、川西北コミュニティ連絡協議会主催の「春の川北子ども祭」が川西北小学校で開催されました。「納涼祭や文化祭など季節ごとの催しを『FSRNF』と名付け、春は今回初めて実施しました。雨にもかかわらず、200人以上が来てくれたのは予想以上です。最後のプレゼント付きペンゴが一番効果があったのかもしれない」と笑うのは、ことども部部长の糞谷勇也さんです。

この春入学したばかりの小学1年生と、2、6年生が交流できる場として企画。「子どもを育む街づくり」の取り組みの一つです。クラスや学年が違う子ども同士と一緒に楽しみました。

「ルールが分からず戸惑っていた子も、時間が経つにつれ、年上の子にアドバイスしてもらったり、手を叩いて一緒に喜んだりしていたので安心しました。1学期が始まった



ばかりで、子どもの募集や準備は大変でしたが、コミュニティ全体で手伝ってくれたので、無事開催できたんです」

「地域と子どものつながり」
今年で部長2年目を迎えた糞谷さんは36歳。企業で働くサラリーマンで、3人の子どもの父親でもあります。住んでいる地域の自治会には、ことども会がありません。住民の高齢化により運営が難しくなり、さらに自治会に入る世帯の減少で、加入する子どもがほとんどいなくなったためです。

「息子は今、隣の地区のことども会に入らせてもらって

ます。でも、そこも今年入ったのはたったの2人。存続の意義が問われています。いざという時、本当に子どもを守る必要だと感じています」

共働き世帯が増え、休日は家族の時間に使いたいという声を耳にすると糞谷さん。しかし、そんな若い子育て世帯にこそ、イベントに参加してほしいと話します。



たけのこ 筍といかのサラダ

木の芽あえを簡単なサラダにアレンジ

人権啓発シリーズ
生きる 人権推進課 ☎(740)1150

自己中心的利他性という心性

「あなたのため」と考えていても
相手の人権を侵しているかもしれない

人はみな身体で生きている以上、その身体の位置から自己中心的に生きる。そんなふうになると、いやいや私はいつも他の人のことをもいろいろ思いやっていて、「自己中心的だ」なんてとんでもありませんと言われるかもしれません。ここで誤解のないように断っておかなければなりません。「自己中心的」ということは「利己的」ということではありません。

人は、周囲の人のことを思いやって、いわば「利他的」に振る舞うことがしばしばあります。しかし、自分では他者のことを思いやっているつもりでも、その「思いやっている」のは自分の視点からのことで、いってみれば自己中心的な視点から抜け出せているわけではありません。他者のことを思いやることを「利他的」だというとして、その利他性にも自己中心性はついてまわるのです。そこで「自己中心的利他性」という言葉をつくり出した人がいます。

もし「自己中心性」を「利己性」と同じものだと考えてしまえば、「自己中心的利他性」というのは、まるで「丸い三角」みたいなもので、形容矛盾もいいところ。しかし、これは誰にもなじみのよく知られた人間の心性です。ひねくれた言い方で分かりづらいですが、簡単に言えば、「おせっかい」、あるいは「大きなお世話」です。自分からは「あなたのため」と思っても、当の相手の視点から見れば迷惑そのもの。そういう形で他者の人権を侵してしまうことがあるのです。

「あなたのために」と言いつつ、それが本当に相手にとっていいことなのかどうか。実際のところ、それは結構難しい問題です。

(前川西市子どもの人権オンブズパーソン 浜田 寿美男)

おとな子どもも
食と育つ 保健センター ☎(758)4721

レシピ 川西・猪名川地域活動栄養士協議会

- 材料 4人分
 - ゆでタケノコ 200g
 - 紋甲イカ(冷凍) 200g
 - グリーンアスパラガス 4本
 - サラダ油 大さじ2と1/2
 - 酢 大さじ1
 - 砂糖 小さじ1/2
 - 塩 小さじ1/3
 - 木の芽 8~10枚
- 熱量(おとな1人分): 133kcal、塩分: 0.8g

- 作り方
- ①ゆでタケノコは根元を4分の短冊切りに、穂先は縦半分に切り薄切りにする。グリーンアスパラガスは斜め薄切りに、紋甲イカは斜めに切り目を入れて1センチ幅に切る。
- ②それぞれをさっとゆがく。
- ③サラダ油、酢、砂糖、塩をよく混ぜ合わせ、細かく刻んだ木の芽を加えて混ぜる。
- ④②と③を合わせてあえる。

消費生活センターだより 消費生活センター ☎(740)1167

コインパーキングの表示をよく確認

「24時間最大600円」が
3日で思わぬ高額料金に!

事例1 「24時間最大600円」と大きく表示があったコインパーキングに車を3日間停めた。料金は1,800円だと思っていたのに出庫時に1万1,400円と表示されてびっくりした。看板をよく見ると「最大料金は1回限りの適用になります。以降は通常料金が加算されます」と小さな字で書いてあった。入庫の際には大きな表示しか見なかった。払わないと車が出せないで困ったが、仕方がないか。(60歳代 男性)

事例2 「最大400円」と大きく書かれた看板が出ているスーパーの駐車場を土曜日に利用。5時間駐車して出ようとしたら1,600円だった。表示をよく見ると「最大400円」の下に小さく「平日のみ(月~金曜日)土・日曜日は60分無料・その後30分ごとに200円」と書いてあった。大きく「最大400円」と書いてあるわりには土・日曜日の料金表示が小さい。問題ではないか。(50歳代 男性)

コインパーキングの看板の料金表示は、消費者が一目見ただけでは利用条件が分かりにくい場合があり、事例のような苦情が寄せられています。看板に「24時間最大〇〇円」「1日最大△△円」と書いてあっても「1回限り」「1日限り」などの表示がある場合は、最大時間を超えると時間当たりの料金が加算され、思ったより料金が上がることがあります。また、休日と平日で料金が違う場合や、年末年始、イベント開催時には利用料金が変化する場合もあり、看板に大きく表示された料金だけを見て利用するとトラブルになります。車を入れる前に、入口付近や精算機付近の案内をよく読み、利用料金や利用条件を確認してから利用するようにしましょう。

市政情報

求人・募集
発表・鑑賞

案内
スポーツ

中央図書館

公民館

ごみ
カレンダー

催し
セミナー

健康

相談の案内
高齢者福祉

子育て

コラム

ニフオース

